

授業科目

公衆衛生看護管理学

担当教員名 宇田 優子	対象学年	4	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	○

授業の概要

2年次公衆衛生看護学実習1、3年次公衆衛生看護学実習2の学習内容を基礎に、公衆衛生看護活動における看護管理の機能と特徴および公衆衛生看護活動を総合的に理解する。

授業の目的

「目標を達成するために人、もの、金、情報、時間、組織を資源として、それらを効率的・効果的に活用する」という管理の概念を理解し、地域での看護管理の基本を習得する。災害以外の健康危機への対応を学ぶ。

学習目標

1. 公衆衛生看護管理の機能と特徴を説明できる。
2. 3年次後期の公衆衛生看護学実習2の情報を基に、地域の健康課題を分析できる。
3. 効果的で効率的な公衆衛生看護活動計画を立案できる。
4. 公衆衛生看護活動の評価と政策立案を説明できる。
5. 健康危機に対する公衆衛生看護管理の機能と特徴を説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	公衆衛生看護管理の機能と特徴	講義	宇田 優子
2	地域の健康課題の分析、活動計画立案と評価、政策立案	講義・グループワーク	宇田 優子
3	3年次公衆衛生看護学実習2の情報を基に、地域の健康課題を分析する	グループワーク	宇田 優子
4	効果的で効率的な公衆衛生看護活動計画の立案(1)	グループワーク	宇田 優子
5	効果的で効率的な公衆衛生看護活動計画の立案(2)	グループワーク	宇田 優子
6	効果的で効率的な公衆衛生看護活動計画について発表	グループ発表・全体討議	宇田 優子 他
7	地域の健康危機管理	講義	宇田 優子 他
8	まとめ	講義・全体討議	宇田 優子 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	公衆衛生看護学 jp	荒賀直子、後閑容子	インターメディカル	2014年	4,400円	既に購入したものを使用する
	公衆衛生看護学	津村千恵子、上野昌江	中央法規	2012年	3,600円	既に購入したものを使用する
	国民衛生の動向 厚生指針増刊		厚生統計協会			既に購入したものを使用する
参考書						
その他の資料						

評価方法

授業態度 30%程度
筆記試験 70%程度

履修上の留意点

- ・グループワーク、発表に積極的な態度での参加、発言を望む。
- ・内容や進め方は変更する場合がある。

オフィスアワー・連絡先

k 5 0 5 研究室。水曜日11:00~13:00。

yuko-uda@nuhw.ac.jp